必須-2 小学校 低学年

学習のねらい ~津波からの逃げ方を学ぶ~ ○「いなむらの火」を用いて津波からの逃げ方を考える。 ○近くの草口提所はどこかを知り 冰げる音識を持っ



| | 学習内容 (展開例) | 指導ポイント・使用資料 |
|------|---|--|
| | 1. 津波からの逃げ方に関心を持たせる ①津波について、前の授業で勉強したことを振り返り(思い出させ)、この授業では逃げ方について学習することを伝える。 | |
| 【導入】 | ②地震の時の対処方法を確認する。地震の逃げ 方を話題にすることで、津波の逃げ方につい て関心を持たせる。 | ■問いかけの例・地震が起きた時にはどうすればよいですか。 気をつけることを考えましょう。 |
| | ③地震の後、津波が発生した場合には、どうすればよいか問いかけ、学習のねらいを伝える。 | ■想定される答え・机の下に隠れる・頭を覆う・ガスの火を消す・揺れがおさまるまでじっとしている |
| 【展開】 | 2. 津波からの逃げ方について教える ① 「いなむらの火」 (紙芝居) を読む。 ※紙芝居の時間が長い場合、抜粋して5分程度で読み終えるようにするなどの工夫も効果的。 ※ はいっというでは、 | ◆紙芝居「いなむらの火」 ※都市計画協会のホームページからもダウンロードできます。 http://www.tokeikyou.or.jp/bousai/inamura-pshow-top.htm |
| | ② <u>ワークシート</u> を活用し、次の2つのことを問いかけて発表させる。 1)村人はどうして助かったのか。 2)村人はどこに逃げて助かったのか。 | ◆ <u>ワークシート02</u> |
| | ③津波が発生した時は、素早く、高い場所へ避難することが大切であることを確認する。 | <指導ポイント> ○地震の後、津波が起こりそうな時は、すぐに高い場所に逃げること。 ○近くに大人がいない時や一人の時でも、 |
| | ※海に近い学校の場合 | 高い場所に向かって逃げること。 |

「学校の近くで高い場所はどこだろうか」と問 いかけ、避難する場所について考えさせる。

| | 学習内容 (展開例) | 指導ポイント・使用資料 |
|-------|--|--|
| 【展開】 | 3. 津波発生を知る方法について教える | |
| | ①「いなむらの火」では、村人が火を見たことによって、津波から逃げることができたことを思い出させる。 | |
| | ②現代では、津波が来ることをどのように知る のかを考えさせる(発表させる)。 | |
| | ③津波が来そうなことを伝える <u>防災放送</u> を聴か せる。 | ◆資316:津波警報・大津波警報(音声) |
| | ④テレビや防災放送、大人の話などで津波が来 そうなことがわかったら、高い場所に逃げる ことを確認させる。 | <指導ポイント> ○地震の後にはテレビやラジオの放送、防災放送に気をつけること。 |
| 【まとめ】 | 4. 津波からの逃げ方について、わかっ たことを確認する | |
| | ※海に近い学校の場合 ①地震が発生し、津波が来そうだとわかった時の行動について、 <u>ワークシート</u> で確認することを伝える。 | ◆ ワークシート03-a つなみからいのちをまもろう |
| | ②学校にいる時、家にいる時、友だちと外で遊んでいる時など、それぞれについて書かせ、 意見を発表させる。 | 2. レスにいめた者 3. ともにちたそとてあるんでいるとき 3. ともにちたそとである人でいるとき 4. COO-D9-98556ALCMOT. 0そくのいんに関えるであるよう。 |
| | ③今日学習したことやワークシートを家の人に 見せて、家族で話し合うあうことを課題とし て与える。 | <指導ポイント> ○近くに大人(教職員・家族など)がいない時は、家に戻るよりも急いで高い場所に逃げること。 ○家族が心配しないように、どう行動するかを家族で話し合うこと。 |
| | ※学校が海の近くにない場合 ①遠足や家族との旅行などで海の近くにいる時、 津波が来そうだとわかった場合の行動につい て、 ワークシート に書かせる。 | ◆ ワークシート03-b □ つなみからいのちをまもろう □ A た は な はまぇ (しんがまの) よんで、 りょこうて、 うみのちかくにいるときに、 ししんがまの、 つなみがきそうなときは、 どのように こうとうしますか? |
| | ②今日学習したことやワークシートを家の人に 見せて、家族で話し合うあうことを課題とし て与える。 | |